



平成27年5月8日

各位

上場会社名 昭和電工株式会社
コード番号 4004 東証第1部
代表者 取締役社長 市川秀夫
問合せ先 財務・経理部 IR室長 加藤信裕
TEL (03) 5470 - 3323

貸倒引当金繰入額（特別損失）の計上および平成27年12月期 第2四半期累計期間連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、当社連結子会社昭光通商株式会社およびその子会社昭光通商（上海）有限公司（以下、合わせて「昭光通商」という。）が中国顧客向け売掛債権に関し貸倒引当金繰入額の計上を行うため、貸倒引当金繰入額（特別損失）の計上を行います。これに伴い平成27年2月12日に公表した平成27年12月期第2四半期累計期間の連結業績予想を修正いたします。

記

1. 貸倒引当金（特別損失）の計上

(1) 貸倒引当金繰入額計上の内容

昭光通商が、中国国内の顧客である鉄鋼関連メーカーグループとの間で行っておりました取引に関し、中国国内の不動産・建設需要の低迷を背景として、金融機関の引き締めの影響を受け、同社グループとの取引において支払遅延が発生しております。

昭光通商は、同社グループに対する売掛債権につきその回収可能性について、第1四半期決算に際し検討を行った結果、現時点では債権の回収見込みが不確定であると判断し、同社グループに対する債権に対し貸倒引当金を全額繰り入れ特別損失として計上することとしました。このため、当社も貸倒引当金繰入額（特別損失）を128億円計上するものです。

(2) 今後の対応

昭光通商は、同社グループに対する債権の回収に注力いたします。また、特別損失計上の責任として、昭光通商役員の報酬減額を行います。

同社は、外部弁護士を委員長とする特別調査委員会を設置し、本件発生の原因究明に努め、再発防止策について検討・実施するとともに、今後、リスク管理を徹底してまいります。

当社は、昭光通商の財務体質を強化するため、同社に対し劣後ローン（140億円）を実施いたします。また、昭光通商の業績回復に向け当社グループの全力を持って支援を行ってまいります。

(3) 当社損益への影響

貸倒引当金繰入額（特別損失）の計上	128億円
平成27年12月期第2四半期純利益への影響額	56億円

2. 平成 27 年 12 月期第 2 四半期累計期間連結業績予想の修正

(平成 27 年 1 月 1 日～平成 27 年 6 月 30 日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A) (平成 27 年 2 月 12 日発表)	百万円 430,000	百万円 10,000	百万円 7,500	百万円 2,000	円 銭 1.40
今回修正予想(B)	403,000	13,000	11,000	△2,000	△1.40
増減額(B)－(A)	△27,000	3,000	3,500	△4,000	
増減率(%)	△6.3%	30.0%	46.7%	－	
ご参考 前期第 2 四半期累計期間 (平成 26 年 12 月期)	413,384	10,533	7,201	△3,436	△2.30

3. 第 2 四半期累計期間連結業績予想修正の理由

売上高は、主にその他セグメントにおいて昭光通商の中国鉄鋼関連事業の縮小に伴う減収を見込み、石油化学セグメントは小幅に減少を見込む等、小幅の減収を見込みます。

営業利益は、無機セグメントは電極の国際市況回復が遅れており年初予想を下回る見込みですが、石油化学セグメントでは、ナフサ価格下落の影響は第 1 四半期に底打ち、エチレン・プロピレン等主要製品の市況が堅調に推移する見込みです。また、化学品セグメントでは情報電子化学品事業の半導体高純度ガスの堅調な出荷が続く見込みであり、総じて年初予想を上回る見込みです。

経常利益は営業利益の増益により増益となる見込みです。

四半期純利益については、上記の貸倒引当金繰入額の計上により減益を見込みます。

尚、通期の業績予想につきましては、特に石油化学セグメントにおいて、原料・製品市況が流動的であり、第 3 四半期以降の予想が現時点では困難であることから見直しを行っておりません。

以上

(ご参考) 平成 27 年 12 月期第 2 四半期累計期間業績予想 セグメント別売上高、営業利益 (連結)

(単位：億円)

		平成 27 年第 2 四半期累計期間業績予想			前年同期実績 (H26. 1～H26. 6)
		前回予想 (H27. 1～H27. 6) H27. 2. 12 発表	今回予想 (H27. 1～H27. 6) H27. 5. 8 発表	増 減	
石油化学	売上高	1, 220	1, 170	△50	1, 197
	営業利益	△25	20	45	△19
化学品	売上高	740	720	△20	673
	営業利益	25	35	10	14
エレクトロ ニクス	売上高	730	700	△30	695
	営業利益	125	120	△5	132
無機	売上高	370	330	△40	333
	営業利益	5	△5	△10	△8
アルミニウム	売上高	520	520	0	458
	営業利益	10	5	△5	18
その他	売上高	900	810	△90	991
	営業利益	0	0	0	3
調整額	売上高	△180	△220	△40	△215
	営業利益	△40	△45	△5	△35
計	売上高	4, 300	4, 030	△270	4, 134
	営業利益	100	130	30	105

注. 上記予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報および将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日における仮定を前提として作成したものであり、実際の業績につきましては、さまざまな要素により、予想数値と大きく異なる場合があります。業績に影響を与える要素には、経済情勢、ナフサ等原材料価格、製品の需要動向および市況、為替レートなどが含まれますが、これらに限定されるものではありません。